

授業科目	観光フィールドワーク				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO21502J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP4-1			
担当教員	角谷 尚久							
授業概要	<p>観光フィールドワークの目的や手法を学び実践することで、調査対象地の実情をより理解することにつながる。</p> <p>観光地ならびに観光素材を調査対象とし、調査対象・項目はそれぞれでグループワークにて決定する。コロナの感染状況により、現地調査を講義などに切り替える場合があるので、留意のこと。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1) フィールドワークの目的と方法を理解し、計画することができる。</p> <p>2) フィールドワーク対象の概要を把握しておくことができる。</p> <p>3) フィールドワークの成果を分析、考察した上で、新たな取り組みや付加価値を提案することができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	50	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)				10			10	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			15	10			25	
思考・判断 (DP2-2)			15	10			25	
関心・意欲 (DP3-1)				10			10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)				5		10	15	
態度(DP4-2)				5		10	15	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
観光フィールドワークを通して基礎知識を理解し、観光フィールドワークの重要性を説明できる。さらに対象の現状と課題について考察し、新たな取り組みや付加価値を提案することができる。				観光フィールドワークを通して基礎知識を理解し、観光フィールドワークの重要性を説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意の説明			講義		復習		60

2	フィールドワークの概要 ①フィールドワークとは ②フィールドワークの意義	講義	復習	60
3	フィールドワークの方法 ①調査方法についての説明	講義	復習	60
4	フィールドワーク内容の調整(1) ①グループ並びに発表順の決定 ②目標設定について	講義 (グループワーク)	発表の準備、復習	60
5	フィールドワーク内容の調整(2) ①目標設定および役割分担・日程について	講義 (グループワーク)	発表の準備、復習	60
6	フィールドワーク内容の決定 ①フィールドワーク内容の発表	講義 (グループワーク)	発表の準備、復習	60
7	フィールドワークの実施(1) ①文献調査ならびにフィールドワークの実施	現地調査	発表の準備、復習	120
8	フィールドワークの実施(2) ①文献調査ならびにフィールドワークの実施	現地調査	発表の準備、復習	120
9	フィールドワークの実施(3) ①文献調査ならびにフィールドワークの実施	現地調査	発表の準備、復習	120
10	フィールドワークの実施(4) ①文献調査ならびにフィールドワークの実施	現地調査	発表の準備、復習	120
11	フィールドワークの分析・まとめ(1) ①フィールドワーク結果の集約並びに分析 ②グループごとに発表の準備をする	講義 (グループワーク)	発表の準備、復習	60
12	フィールドワークの分析・まとめ(2) ①フィールドワーク結果の集約並びに分析 ②グループごとに発表の準備をする	講義 (グループワーク)	発表の準備、復習	60
13	フィールドワークの分析・まとめ(3) ①フィールドワーク結果の集約並びに分析 ②グループごとに発表の準備をする	講義 (グループワーク)	発表の準備、復習	60
14	フィールドワークの分析・まとめ(4) ①発表内容をとりまとめ、発表準備を完了する	講義 (グループワーク)	発表の準備、復習	60
15	フィールドワークの成果発表 ①グループごとの発表	講義	発表の準備、復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>1. 「フィールドワーク入門」を履修済みもしくは同時履修していることが望まれる。</p> <p>2. 調査の成果発表はマイクロソフトパワーポイントを使用してのプレゼンテーション発表となる。</p>			
テキスト	適宜資料を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>・谷富夫・芦田徹郎編著（2009）『よくわかる質的社会調査 技法編』、ミネルヴァ書房、2500 円＋税</p> <p>・谷富夫・山本努編著（2010）『よくわかる質的社会調査 プロセス編』、ミネルヴァ書房、2500 円＋税</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>本講義は実際に街へでて、インタビューやアンケートを行う。そのため、部活動やアルバイトなどの日程調整が必要となるので、事前に確認のこと。</p> <p>コロナの感染状況により、現地調査を講義などに切り替える場合があるので、留意のこと。</p>			
達成度評価に関するコメント	授業参画やグループワークでの貢献度を重要視する。			

